

NT SERIES



ラジカル制御形1液水性トリプル硬化ハイパープロテクト高機能塗料

ウォールバリアNTシリーズ ルームバリアNTシリーズ

～超高耐候性・ノンタック・超低汚染・耐皮脂軟化・汚染除去性・抗菌～

建築塗料の総合メーカー



スズカファイ株式会社

挑戦の先に見えた技術 NT SERIES

Triple硬化システムによる進化したハイパープロテクト機能を有する
ノンタック・超低汚染性・耐皮脂軟化・汚染除去性に優れたラジカル制御形ハイブリッド樹脂塗料シリーズです。

【上 塗】

◆ラジカル制御形Triple 硬化ハイパープロテクトハイブリッド樹脂塗料

ウォールバリアNTシリーズ

外 装

つや有り
7・5・3分つや

■ラジカル制御形1液水性トリプル硬化形無機系ハイブリッド樹脂塗料

ウォールバリア水性無機NT

無 機 超高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 防藻・防かび
ノンタック 超低汚染 耐皮脂軟化 高硬度

■ラジカル制御形1液水性トリプル硬化形無機系ハイブリッド樹脂強力防藻・防かび塗料

ウォールバリア水性無機NT-BIO

無 機 超高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 強力防藻・防かび
ノンタック 超低汚染 耐皮脂軟化 高硬度

■ラジカル制御形1液水性トリプル硬化形アクリルシリコン樹脂塗料

ウォールバリア水性シリコンNT

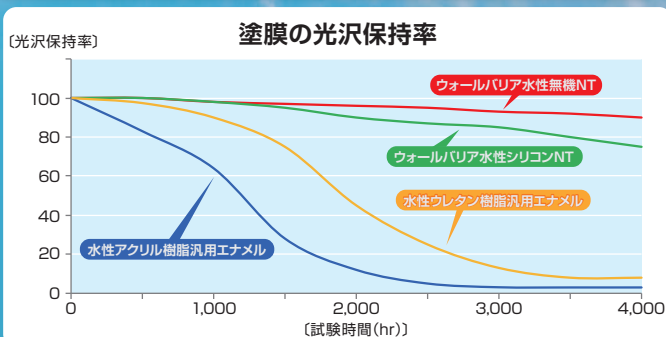
シリコン 高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 防藻・防かび
ノンタック 超低汚染 耐皮脂軟化 高硬度

■ラジカル制御形1液水性トリプル硬化形アクリルシリコン樹脂強力防藻・防かび塗料

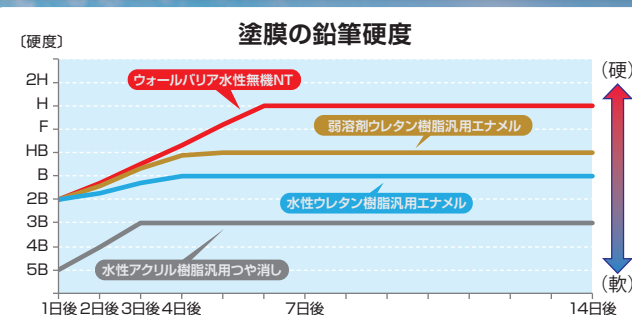
ウォールバリア水性シリコンNT-BIO

シリコン 高耐候性 Triple硬化 HALS ラジカル制御 強力防藻・防かび
ノンタック 超低汚染 耐皮脂軟化 高硬度

促進耐候性結果(キセノンランプ法)

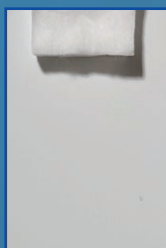
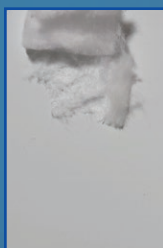


塗膜の表面硬度



粘着性試験結果

《塗膜の粘着性試験》
塗付した塗膜を24時間乾燥させた後、塗膜表面に脱脂綿を1分間圧しつける。脱脂綿を取り除いた時の状態を評価した。

ウォールバリア
水性無機NT汎用水性
エナメル

屋外汚染暴露試験結果(期間:1年間)

工場地帯にて1年間暴露

ウォールバリア
水性無機NT汎用水性
エナメル

ルームバリアNTシリーズ

内装

つや有り・7・5・3分つや
つや消し(1分つや程度)

■ 1液水性トリプル硬化形アクリルシリコン樹脂塗料

ルームバリア水性シリコンNT

シリコン

高耐候性

Triple硬化

HALS

ラジカル制御

防かび

ノンタック

耐皮脂軟化

高硬度

汚染除去

■ 1液水性トリプル硬化形アクリルシリコン樹脂抗菌・抗ウイルス塗料

ルームバリア水性シリコンNT-抗菌

シリコン

高耐候性

Triple硬化

HALS

ラジカル制御

防かび

ノンタック

耐皮脂軟化

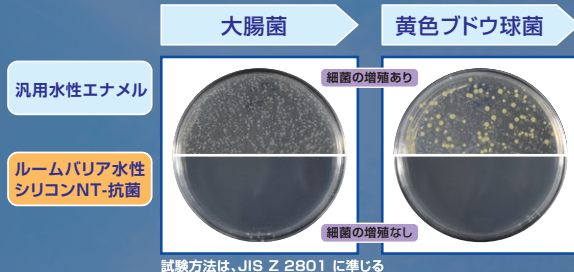
高硬度

汚染除去

抗菌・抗ウイルス

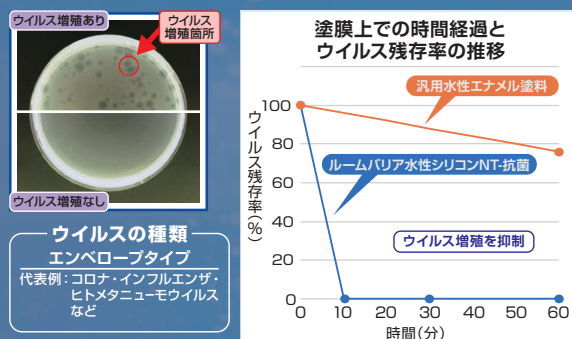
抗菌性

特殊抗菌剤により、優れた抗菌性を長期にわたり発揮します。抗菌塗膜は、紫外線や可視光などの光が無くても抗菌性が発現するため、暗室などの光が届きにくい環境でも安心してご使用いただけます。



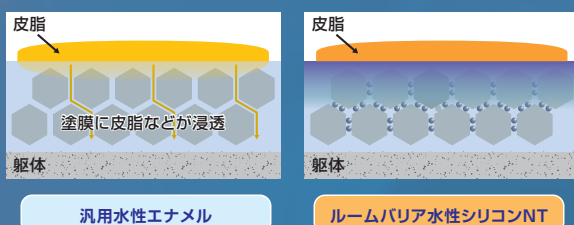
抗ウイルス性

エンベロープタイプのウイルスに対し優れた抗ウイルス性を発揮します。



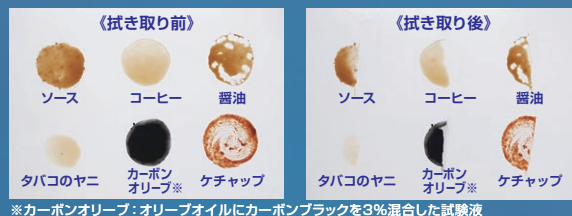
耐皮脂軟化性

Triple硬化により形成した緻密な塗膜は、皮脂の浸透を抑制し、更に、皮脂により軟化しにくい特殊樹脂の効果で表面のべたつきや汚れを抑制します。



汚染除去性

緻密な塗膜は汚染物の浸透を抑制し、タックフリーな塗膜は汚染物を拭き取り易いため、優れた汚染除去性を発揮します。



汚染除去試験: 各汚染物を塗膜に付着させ、5分間経過後に20%希釈した中性洗剤(又は弱アルカリ性洗剤)を含ませたガーゼで拭き取る。

商品体系

商品名		系統	容量	仕上がり	色相
上塗	ウォールバリア水性無機NT	水系	15kg 3kg	つや有り 7・5・3分つや	白・黒・赤 赤さび色 オーカー色 黄色・紺 調色品
	ウォールバリア水性無機NT-BIO				
	ウォールバリア水性シリコンNT				
	ウォールバリア水性シリコンNT-BIO				
	ルームバリア水性シリコンNT	水系	15kg 3kg	つや有り 7・5・3分つや つや消し (1分つや程度)	
	ルームバリア水性シリコンNT-抗菌				

《可使時間》

塗料	気温	5~15℃	15~25℃	25~35℃
下塗	WB水性グリップシーラー-透明	6以内	4以内	2.5以内
	WB水性グリップホワイトシーラー	6以内	4以内	2.5以内
	WBグリップシーラー-EPO	7以内	5以内	3以内
	ワイドさびストップ	7以内	5以内	2以内
	アクアさびストップ	8以内	3以内	2以内

【窯業系サイディングボード用】

商品名	系統	容量	仕上がり	色相
WB水性グリップシーラー-透明	水系	15kgセット(14:1)	—	透明
WB水性グリップホワイトシーラー		3kgセット(2.8:0.2)	—	白
WBグリップシーラー-EPO	弱溶剤系	15kgセット(13:2)	—	透明

【コンクリート・モルタル用】

下地調整塗材	WBリメーク弾性フィラー-RE※	水系	15kg	—	白
	WBリメーク弾性フィラー-EPO				

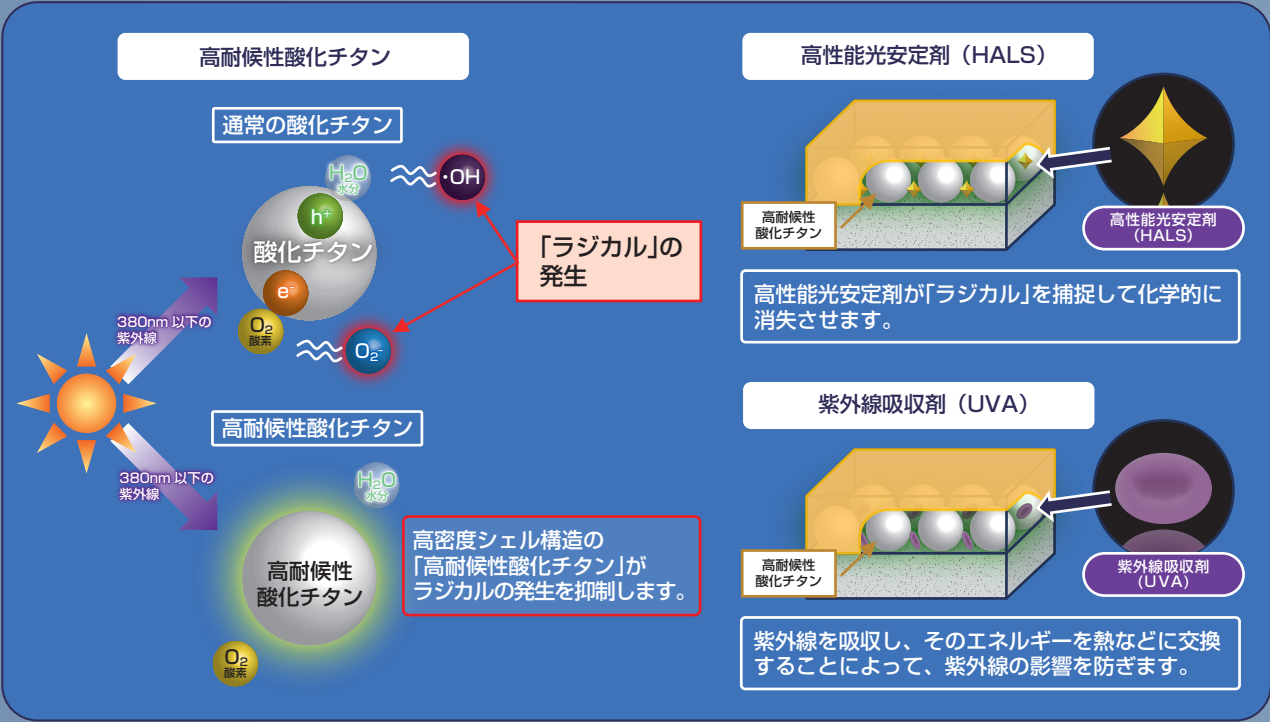
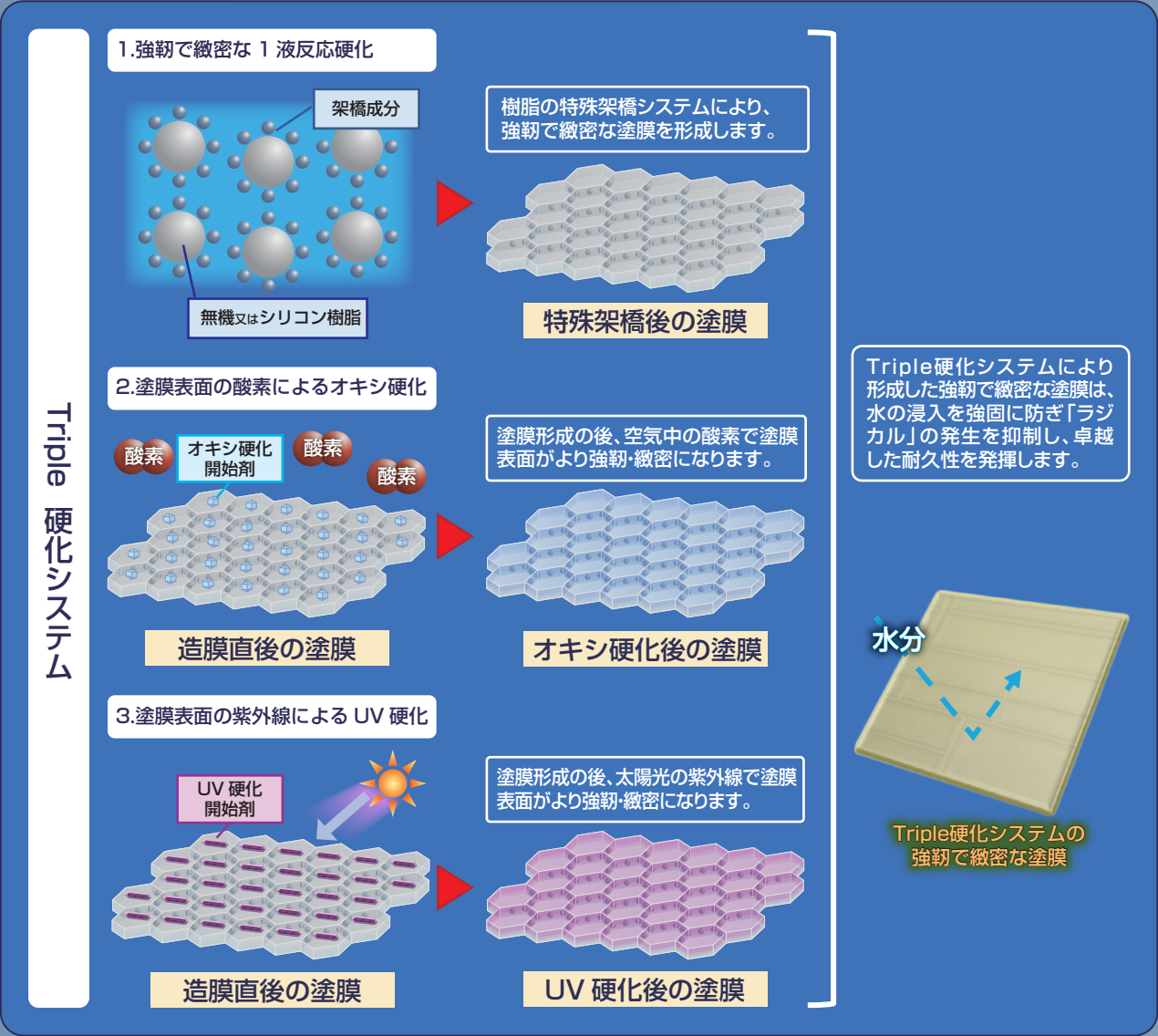
※WBリメーク弾性フィラー-RE: JIS A6909可とう形改修塗材RE

【金属系サイディングボード・一般鉄部・手摺用】

下塗	ワイドさびストップ	弱溶剤系	16kgセット(14.4:1.6) 4kgセット(3.6:0.4)	—	白・グレー・黒 赤さび色
	1液ワイドさびストップ		16kg・4kg		
	アクアさびストップ	水系	16kgセット(15:1)	—	白・グレー

ハイパープロテクト機能

塗膜の劣化要因である「ラジカル」は、水分・酸素・紫外線により発生します。
1液特殊架橋システムと、塗膜表層のオキシ硬化およびUV硬化による当社独自の「ハイパープロテクト機能」は、Triple 硬化システムによる強靱で緻密な塗膜を形成することで「ラジカル」の発生因子である水分の浸透を抑制し、卓越した耐久性を発揮します。



塗替施工仕様書

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル等

●下地調整

工 程	塗 材	割合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	●既存塗膜の浮き、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー・皮スきなどを用いて除去する。 ●汚れ、じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧：15MPa以上)で除去する。 ●水洗い面を乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 ●シーリング面は予めラフトン逆プライマーを塗装する。					

■窯業系サイディングボード

●下塗り

2 下塗り	WBリメークサーフEPO 清水	100 3～5	0.2～0.4	1	3時間以上	ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	--------------------	------------	---------	---	-------	---------------------

※コンクリート・モルタル下地の改修にも使用可能です。
使用可能下塗：カチオンシーラーEPO、カチオンホワイトシーラーEPO、ワイドシーラー EPO、ワイド浸透シーラーEPO、ワイド浸透シーラーホワイトなど
※下塗りに、シーリング汚染抑制剤[WBRリメークサーフNB]は使用できませんのでご注意ください。

●下塗り〔下地：特殊コーティング(ふっ素・光触媒等)窯業系サイディングボード用〕

2 下塗り	WBグリップシーラーEPO (無希釈)	100 (無希釈)	0.08～0.18	1～2	4時間以上 7日以内	ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	------------------------	--------------	-----------	-----	---------------	---------------------

※吸い込みの少ない活膜などを塗替える場合、塗付量目安0.05 ～ 0.07kg/m²とし、塗り過ぎにご注意ください。
※下地の吸い込みが著しい場合は2回塗りし、工程内での施工間隔は3時間以上
使用可能下塗：WB水性グリップシーラー 透明、WBグリップホワイトシーラー

■コンクリート・モルタル等

●下塗り〔ウールローラー仕上げ〕 既存塗膜：リシン・吹付タイル等

2 下塗り	WBリメークサーフEPO又はRE 清水	100 5～10	0.3～0.5	1	5時間以上	ウールローラー塗り
-------	------------------------	-------------	---------	---	-------	-----------

●下塗り〔さざなみ模様仕上げ〕 既存塗膜：リシン・吹付タイル等

2 下塗り	WBリメークサーフEPO又はRE 清水	100 1～3	0.8～1.5	1	8時間以上	パターンローラー塗り
-------	------------------------	------------	---------	---	-------	------------

金属サイディングボード・一般鉄部・手すりなど

●素地調整

既存塗膜：SOP・フタル酸樹脂・塩化ビニル樹脂・アクリル樹脂など						
工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨布、皮すきなどの手工具を併用して、さび、劣化塗膜などを除去する。 ●油脂類は溶剤ぶきで除去する。					

●下塗り

2 下塗り	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0～5	0.18～0.24	1～2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り ^{注1)}
-------	----------------------	------------	-----------	-----	-------	--

注1)ワイドさびストップをスプレー塗装する場合の希釈率は0 ～ 10%です。
使用可能下塗：ワイドさびストップ、1液ワイドさびストップ、アクアさびストップ、エポブラなど
※エポマイルド、リフノン、水性ラスノンEPOは使用できません。

●上塗り〔各下地共通〕

3 上塗り	ウォールバリアNTシリーズ 清水	100 0～10	0.12～0.2	2	3時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り ^{注2)}
-------	---------------------	-------------	----------	---	---------------------------	--

注2)ウォールバリアNTシリーズをスプレー塗装する場合の希釈率は10 ～ 15%です。
使用可能上塗：ウォールバリア水性無機NT、ウォールバリア水性無機NT-BIO、ウォールバリア水性シリコンNT、ウォールバリア水性シリコンNT-BIO
ルームバリア水性シリコンNT-抗菌は金属素地系手すりで使用可能です。(内部・準外部まで)

用 途 建築物内外壁など

適用下地 窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALCパネル・スレート・鉄部・手すりなど

石こうボード・コンクリート・モルタル等

●下地調整

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10 以下) ●素地のレタンス、エプロレスセンス、汚れは除去し巣穴、不陸、目違いなどは予めパテなどの下地調整材で平滑にする。(パテはアクリルエマルジョンパテを使用してください。) ●汚れ、じんあいはブラシ、布などで除去し、ヤニ、油脂類は溶剤ぶきで除去する。 ●木ねじ、釘などで防錆処理がされていない箇所はさび止め塗料を塗付する。					

●下塗り

2 下塗り	AEPクリーンシーラーホワイト 清水	100 10～30	0.07～0.11	1	2時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	-----------------------	--------------	-----------	---	-------	-----------------------------

使用可能下塗：AEPクリーンシーラー 透明、カチオンシーラー EPO、カチオンホワイトシーラー EPO、ワイドシーラー EPO、ワイド浸透シーラー EPO、ワイド浸透シーラーホワイトなど

●上塗り

3 上塗り	ルームバリアNTシリーズ 清水	100 5～15	0.12～0.2	2	3時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	--------------------	-------------	----------	---	---------------------------	-----------------------------

使用可能上塗：ルームバリア水性シリコンNT、ルームバリア水性シリコンNT-抗菌

施工上の注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 窯業系サイディングボード及びALCパネルのひび割れ、欠損などは、パネル製造メーカーが推奨する補修材、工法で補修してください。
- コンクリート及びモルタル下地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンカチオンSCフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- ウォールバリアNTシリーズを、光触媒、無機系、ふっ素樹脂塗料などが施された特殊な下地に塗装する場合は予め付着性を確認の上、本施工を実施してください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、施工を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれのある場合は施工を避けてください。
- 特殊コーティング(光触媒・ふっ素等)の金属系サイディングボードへ塗装する際は、付着性を十分に確認の上、本施工を実施してください。
- 吹付施工の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから施工してください。
- うすめすぎは、たるみ、隠べい不足、つや不良などを生じますので注意してください。
- たれ、塗り残しなどがないように均一に施工してください。
- つや調整品は、被塗物の形状、膜厚、色相、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合がありますので、ご了承ください。施工前に必ず試し塗りをを行い、つや等の仕上がりを確認した上で、本施工を行ってください。
- ローラー塗装の場合、塗付むら、塗継ぎ、タッチアップなどにより、つやむらを生じやすい傾向にありますので、ご注意ください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。下地の形状や状態・施工方法・環境などによって増減することがあります。
- 各工程の間隔時間及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむをえず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- 塗装面とプラスチックなど可塑性を含むものとが接触する箇所には塗装しないでください。
- ベンチ・ジャンルジムなどが乗るもの、またテーブル・カウンター・棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- BIOタイプは、かびや藻などの繁殖抑制効果を示すものです。施工部位の形状(水分が滞留しやすい壁面など)や環境(植栽、森林、湖沼などに隣接している壁面、建物の北面、かげなど常時湿気が高い壁面など)により、防かび・防藻性能が十分発揮されない場合があります。また、防かび・防藻剤の効果は永久に持続するものではありませんので、抑制効果の低下と共に経時的にはかびや藻などが再発生する可能性があります。
- 旧塗膜がSOP、FE などの油性系の場合、研磨紙すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜剥離の原因となります。
- 濃彩色や原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。
- 蓄熱されやすい軽量モルタル、ALC パネル、窯業系サイディングなどの建材を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシンの場合、塗替え段階ですでに旧塗膜が膨れている場合があります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境などの複数の条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所にご相談ください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
防護マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。
もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記の場所の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。

注) ① 建物の構造、塗装部位(雨のかかりが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

② 各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。
また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。

- ※溶剤系塗料を使用する時は、左記の注意事項に合わせて下記事項に注意してください。
- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取扱いは作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
有毒ガス用防毒マスクまたは逆気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 臭いは食品系・飲食器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出す時には、こぼれないように注意してください。
もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、または粉末消火器を用い初期消火をしてください。

<https://www.suzukafine.co.jp>



iPad / iPhone用簡易カラーシミュレーションアプリ

i Color Paint



スズカファイン株式会社

営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191
☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		

取扱店

URL <https://www.suzukafine.co.jp/>

●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

25/03